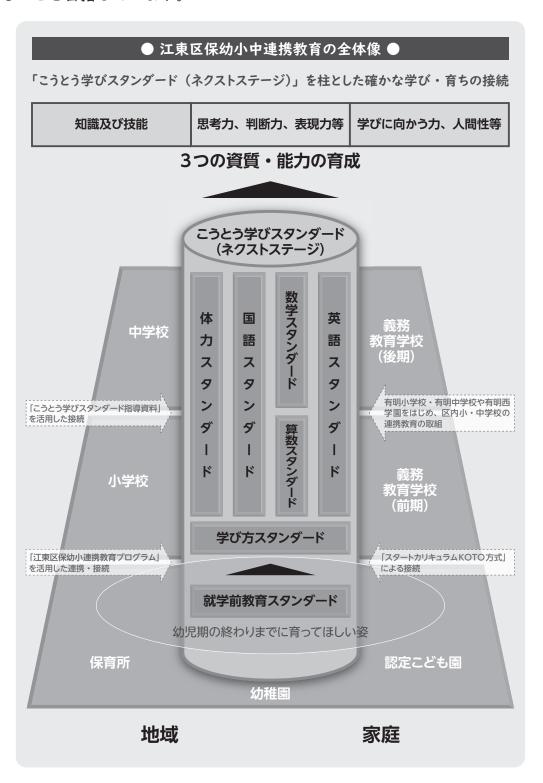
3 「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」による学び・育ちの接続

(1) 江東区保幼小中連携教育の全体像

「こうとう学びスタンダード」は、令和元年度、新たに「就学前教育スタンダード」を策定し、「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」として、取組のより一層の充実を図っています。

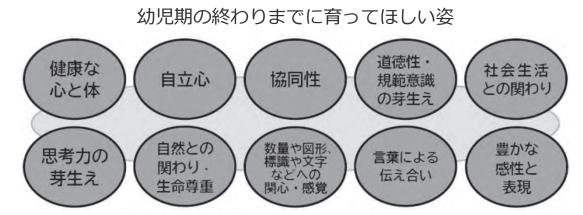
「こうとう学びスタンダード (ネクストステージ)」を柱として、保育所・幼稚園から中学校まで、区内の教育に携わる機関が一体となって、江東区の教育を推進することを目指しています。



(2)「就学前教育スタンダード」とは

就学前教育スタンダードとは、小学校以降の学びにつながる「幼児期に必ず体験する内容」を示したものです。

- 「就学前教育スタンダード」は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 を視点とします。
- 「就学前教育スタンダード」は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 を視点とした際に、江東区立幼稚園の実態から、3歳児、4歳児、5歳児の保 育を見通して、最も重要だと思われる「体験」を、「幼児期に必ず体験する内 容」として示します。
- 「就学前教育スタンダード」は、江東区立幼稚園の教員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して指導を行う際の基礎・基本とします。
- 「就学前教育スタンダード」に基づいた指導を行うことにより、幼児に、小学校以降の学びにつながる「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力が育まれるものと考えます。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、「幼稚園教育要領」に示されたねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものです。

到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないこと、全ての幼児に同じように見られるものではないこと、5歳児に突然見られるようになるものではないため、3歳児、4歳児の時期から、幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことなどに留意する必要があります。

参考:「幼稚園教育要領解説」

※ 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」にも同様の記述があります。

就学前教育スタンダードでは、これらの趣旨を十分に踏まえた上で、幼児期の教育の充実や、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続に資するため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とします。

「就学前教育スタンダード」は、区立幼稚園の取組ではありますが、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえた内容であり、私立幼稚園、保育所の方にも参考にしていただければと思います。

就学前教育スタンダード

「就学前教育スタンダード」とは、小学校以降の学びにつながる 「幼児期に必ず体験する内容」を示したものです。

はたマツ 4

就学前教育スタンダードは、 近ひ や 土活 を通して体験してい	いきます。
【健康な心と体】	
ロ のびのびと体を動かす	
「自立心」 自分でよく考える	
「協同性」 □ 友達と遊ぶことを楽しむ	
【道徳性・規範意識の芽生え】 □ 相手の気持ちを考える	
【社会生活との関わり】	
【思考カの芽生え】	
【自然との関わり・生命尊重】	
【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】 □ 数や文字などに関心をもつ	
「言葉による伝え合い」 □ 楽しく話したりよく聴いたりする	
【豊かな感性と表現】 □ いろいろな表現を楽しむ	

■ 就学前教育スタンダードは、幼稚園教育要領等に示されている「幼児期の 終わりまでに育ってほしい姿」を視点としています。私立幼稚園、保育所 の方にも参考にしていただければと思います。

江東区観光キャラクター コトミちゃん ヒーロくん コーちゃん・トーくん

【健康な心と体】

のびのびと体を動かす



「のびのびと体を動かす」とは・・・

○ 「のびのびと体を動かす」とは、幼児が心も身体も解放し、元気に体を動かして 遊ぶ体験のことです。

運動的な活動に限らず、例えば、ごっこ遊びの中で「大きな積み木を運んで家を作る」場面や、砂場での遊びの中で「穴を掘る」「バケツで水を運んで流す」場面なども、幼児がのびのびと体を動かす体験になると考えます。

○ 自ら心を弾ませて、体を動かして遊ぶことが大好きな幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 遊びや生活の中で、十分な運動量を確保していきます。
- 特定の動きを一斉に指導するのではなく、幼児の発達段階や興味・関心に応じて、 幼児が遊びの中で、走ったり、跳んだり、投げたり、押したり、引いたり、転がっ たり・・・するなど、多様な動きを体験できるようにしていきます。
- 幼児がのびのびと体を動かすことができるよう、その素地づくりとして、家庭との連携を大切にしていきます。基本的な生活習慣を身に付けることや、生活のリズムを整えること、幼児の食に対しての興味・関心が増すよう「食育」を推進していくことなどに取り組んでいきます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード □ 背筋を伸ばした姿勢で座ります

□ 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします

体力スタンダード

※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。

מעבו





【自立心】

自分でよく考える



「自分でよく考える」とは・・・

- 「自分でよく考える」とは、幼児が初めての場面や、困った状況に出会った時な ど、立ちすくんだり誰かに頼ったりするのではなく、自分なりに考えを巡らせて、 じっくり考える体験のことです。
- 自分なりに考えて、自分の力でやってみようとする幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- まずは、「自分の気持ちや考えを素直に出していいのだ」という安心感をもてるようにします。そのため、保育者は、幼児の行動や思いをありのままに受け止め、期待をもって見守りながら、幼児の心の動きに沿って援助していくことを心掛けます。
- また、保育者と一緒に考える体験を保障していきます。幼児にとって、自分の考えや思いが受け止められた喜びを味わいながら、保育者と一緒にじっくり考える時間を過ごすという体験が、次第に、自分で考え、行動しようとする気持ちをもつことにつながっていくと考えます。
- 併せて、友達との関わりを大切にしていきます。遊びや生活の中で友達と関わり、 自分とは異なる考えに触れる体験や、自分の考えが受け入れられたり、あるいは受 け入れられなかったりする体験が、新たな気付きを生み、自分でよく考えることに つながっていくと考えます。

学び方スタンダード	授業の始まりの時間を守り、席に着きます	
	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します	•
国語スタンダード	相手や場面を考えて敬語を使います	
	順序を考えて相手に伝わるように話します	
	自分と友達の考えを比べながら話し合います	
		など





【協同性】

友達と遊ぶことを楽しむ



「友達と遊ぶことを楽しむ」とは・・・

- 多くの幼児にとって、園生活は、家庭から離れて同年代の幼児と一緒に過ごす 初めての集団生活です。「友達と遊ぶことを楽しむ」とは、他の幼児と同じ場にい ることから始まり、一緒に行動すること、互いに思いや考えを出しながら遊ぶこ と、面白さや楽しさを共有すること、時には気持ちをぶつけ合い折り合いを付け ながら遊ぶこと、共通の目的をもって協力することなどの体験のことです。
- 積極的に人と関わり、一緒に生活することを楽しみ、互いの存在を尊重し合える 幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 保育者との信頼関係を基盤に、遊びや生活の中で、様々な友達との関わりを大切にしていきます。友達と思いや考えを伝え合ったり、力を合わせて問題を解決したりすることを通して、人とつながる喜びや、ともに遊ぶ楽しさ、一人では味わえない充実感などを、十分に感じられるようにしていきます。
- また、併せて、その過程で起こる、自己主張のぶつかり合いによる様々な葛藤 体験も、幼児期だからこそできる貴重な体験と捉え、保障していきます。

学び方スタンダード	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します	
	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます	
	名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします	
国語スタンダード	順序を考えて相手に伝わるように話します	
	自分と友達の考えを比べながら話し合います	
英語スタンダード	英語で積極的にコミュニケーションをとります	
	英語であいさつや自己紹介をします	
		など





【道徳性・規範意識の芽生え】

相手の気持ちを考える



「相手の気持ちを考える」とは・・・

- 「相手の気持ちを考える」とは、友達との様々な関わりの中で、自分にも思い や考えがあるように、相手にも思いや考えがあることに気付く体験のことです。
- 相手の立場に立って物事を考え、相手の思いを察し、思いやりの心をもった幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- まず、自分の思いや考えが他者に受け入れられる体験を重ねていけるようにします。自分が受け入れられていることを実感すると、安心感が生まれ、自己を発揮することができます。自己が発揮できていることは、周りの環境や人に関心をもつようになるためには不可欠です。人に関心を寄せ、相手の立場に立って物事を考えられるようになるための素地づくりをしていきます。
- 友達との関わりが深まっていくと、互いに思いを主張し合う場面が増えてきます。そのような状況も、相手の気持ちを考えるようになるための成長の過程と捉え、自分の思いを出しつつ、相手の気持ちも察して、少しずつ、折り合いを付けながら遊ぶ体験を重ねることができるよう援助していきます。

学び方スタンダード	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します	
	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます	
	名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします	
国語スタンダード	順序を考えて相手に伝わるように話します	
	自分と友達の考えを比べながら話し合います	
英語スタンダード	英語で積極的にコミュニケーションをとります	
	英語であいさつや自己紹介をします	
		など





【社会生活との関わり】

「ありがとう」と言われる嬉しさを感じる



「『ありがとう』と言われる嬉しさを感じる」とは・・・

- 「『ありがとう』と言われる嬉しさを感じる」とは、自分がしたことで、相手が笑顔になったり、相手から「ありがとう」という言葉を掛けられたりすることを通して、人の役に立つ喜びを感じる体験のことです。
- 人の役に立つ喜びを感じる幼児を育てていくとともに、自分という存在がいい ものだと感じる原体験を重ね、幼児の自己肯定感を高めていきたいと考えます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

○ 様々な人との関わりを保障していきます。人と人の関わりは、それぞれの置かれた立場や、関係性により、様々な状況を生み出し、その意味は異なってきます。同学年の幼児との関わり、自分より年少の幼児との関わり、地域の方との関わり、高齢者との関わり、外国籍の方との関わりなどの中で、相手が笑顔になったり、「ありがとう」「今日は楽しかったよ」といった言葉を掛けられたりすることで、幼児であっても「自分にも人のためにできることがある」という思いを感じるはずです。将来のボランティア精神の基盤にもつながる、人の役に立つ喜びを幼児期に体験することができるよう、他者の役に立っているという満足感を得られるようにしていきます。

学び方スタンダード	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します	-
	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます	
	名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします	
国語スタンダード	順序を考えて相手に伝わるように話します	
	自分と友達の考えを比べながら話し合います	
英語スタンダード	英語で積極的にコミュニケーションをとります	
	英語であいさつや自己紹介をします	
		など





【思考力の芽生え】

十分に試したり工夫したりする



「十分に試したり工夫したりする」とは・・・

- 「十分に試したり工夫したりする」とは、様々な物や事象に自ら関わり、物の性質や仕組みなどに興味をもったり、不思議さや面白さを感じたり、自分なりの「こうしてみたい」という思いや「こうなのでは」という予測をもつなどしながら、じっくり遊ぶ体験のことです。
- 好奇心や、探究心が旺盛であるとともに、失敗しても、もう一度挑戦したり、じっくり考え直して違う方法で取り組んだりする諦めない気持ちや、粘り強さをもった幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 幼児が、心と体を働かせて、物や事象とじっくり関わることが大切だと考えます。 就学前教育スタンダードでは、幼児が、手で触ったり、全身で感じたり、自分なり に比べたり、これまでの体験と関連付けてみたりする営みを、十分に保障していき ます。そのことが、その幼児なりの気付きを深めていくことにつながると考えます。
- 時には、大人には単調な繰り返しに見えることが、幼児とっては、重要な意味を もっていることもあります。幼児の心の動きをつぶさに見つめ、一人一人の幼児の、 物や事象との関わりの意味を理解し、必要な援助をしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒<u>個人の目標を設定し、</u> 楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。

国語スタンダード 自分と友達の考えを比べながら話し合います

算数スタンダード(全般)





【自然との関わり・生命尊重】

自然にたっぷり触れる



「自然にたっぷり触れる」とは・・・

- 「自然にたっぷり触れる」とは、身近な自然にたくさん触れて、全身で自然を感じ取る体験のことです。時代の流れに伴い、幼児が十分に自然に触れる機会や場は、少なくなる一方です。せめて園生活の中では、そのような機会を数多くつくりたいと考えます。
- 自然の美しさに触れて感動したり、愛情や畏敬の念を抱いたり、季節や状態の変化を感じ取ったり、不思議さや疑問を抱いたりする幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 幼児の自然との関わりが豊かな直接体験となるよう、園内の自然環境を整備したり、地域の自然に触れる機会をつくったりします。
- 幼児は日常の何気ない生活場面で、自然に触れ、心を揺り動かしています。そのような場面は、必ずしも大人と同じではありません。その幼児なりの自然との出会い、関わりを見逃さないようにしていきます。
- 自然に触れ、感動したり、気付いたり、季節による変化を感じ取ったりする体験は、自然に対する畏敬の念、親しみ、愛情などを育てるばかりでなく、科学的あるいは数学的な見方や考え方の芽生えを培う基礎となるものです。その原体験となる場面を多く生み出せるよう、環境の構成を工夫したり、援助したりしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。

国語スタンダード □ 季節を感じ、俳句に親しみます **算数スタンダード** (全般)





【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

数や文字などに関心をもつ



「数や文字などに関心をもつ」とは・・・

- 「数や文字などに関心をもつ」とは、遊びや生活の中で、自然に、数や文字などに触れ、その便利さや意味、特徴などに気付く体験のことです。数や文字を教えるのではなく、例えば、空き箱や積み木、ボールなどの立体に触れる遊び、チームの人数や陣地の広さを同じにする必要がある鬼遊び、絵本や、保育室内の表示、マークなど、園生活の様々な場面で、その機会を生み出すことができると考えます。
- 幼児の数や文字などへの興味や関心を広げ、数量や文字などに関わる感覚を豊か にしていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 数量や図形などについては、例えば、欠席した友達の人数を数えたり、どちらの 砂山が高いか比べてみたり、園庭に落ちている花びらや葉の形に注目したりなど、 幼児の必要感や興味、関心から出発する営みを大切にしていきます。数量や図形な どに親しむ体験を多様に重ねていけるようにします。
- 標識や文字などについては、自分が普段話している言葉がある特定のマークや文字などに対応していることを知る驚きや喜びなどに共感しながら、生活を豊かにしたり便利にしたりする、コミュニケーションの手段の一つであることを感じ取れるようにしていきます。
- 数を確実に数えられたり、文字を正確に読めたり書けたりする習熟の指導に努めるのではなく、幼児の数や文字などへの興味や関心を広げ、数量や文字などに関わる感覚を豊かにできるよう、環境の構成を工夫したり、援助をしたりしていきます。

他スタンダードとの主なつながり

学び方スタンダード □ 授業の始まりの時間を守り、席に着きます

国語スタンダード □ 読書に親しみ、いろいろな分野の本を読みます

算数スタンダード (全般)





【言葉による伝え合い】

楽しく話したりよく聴いたりする



「楽しく話したりよく聴いたりする」とは・・・

○ 「楽しく話す」とは、初めての集団生活の中で、保育者や友達に、「ねえ、ねえ、 あのね!」と、自分が思っていることや感じたことを言葉で伝える楽しさを味わう 体験のことです。

「よく聴く」とは、自分の話を聴いてもらう体験を重ねながら、少しずつ保育者や友達と心を通わせるようになり、相手の話を、関心をもって聴く体験のことです。

○ 言葉による伝え合いを楽しみながら、次第に、相手や状況に応じて言葉や表現を 変えて分かりやすく伝えたり、相手の話を注意して聴く幼児を育てていきます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 言葉だけでなく、表情や動作などを交えて精一杯伝えようとするその幼児なりの 表現を受け止め、理解しようと努めます。
- 幼児が自分一人では表現しきれない事柄を保育者が的確な言葉で代弁したり、友達が発言する様子に注目できるよう援助したりすることで、少しずつ、新しい言葉や表現の仕方を学んでいけるようにします。
- また、自分の話を保育者や友達に受け止めてもらうことで、少しずつ、友達の話にも関心を寄せ、楽しく遊ぶ体験を重ねられるようにしていきます。そうすることが、友達の思いに共感したり、自分のこととして受け止めたりするなど、人の話をよく聴くことにつながると考えます。さらに、学級全体で集まり、絵本を見たり、保育者の話を聴いたりなど、みんなで一緒に話を聴く体験も重視していきます。

学び方スタンダード	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します	-
	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます	
国語スタンダード	相手や場面を考えて敬語を使います	
	順序を考えて相手に伝わるように話します	
	自分と友達の考えを比べながら話し合います	
		など





【豊かな感性と表現】

いろいろな表現を楽しむ



「いろいろな表現を楽しむ」とは・・・

- ここで言う「いろいろ」には、大きく2つの視点があります。
- I つは、表現の方法、手法などです。ひとくちに「表現」と言っても、様々な表現があります。歌、言葉を用いた表現、楽器を使った表現、身体を使った表現、絵画的な表現、それらの複合的な表現、あるいはジャンル分けできない幼児ならではの名前の付けようがない表現など・・・。歌や言葉を用いた表現は、外国語でも楽しめるでしょう。幼児には、様々な表現の方法、手法に出会ってほしいと考えます。
- もう | つは、その幼児なりの表現を大事にしたいということです。幼児の表現は、 実に素朴で、自由です。まさに「いろいろ」です。表現の方法や過程、作品は一様 ではなく、一人一人異なります。幼児には、伸びやかに想像を膨らませ、表現する 過程を十分に楽しみ、その世界に浸る体験をたくさんしてほしいと考えます。

「就学前教育スタンダード」で取り組むこと

- 知らないことには表現のしようがないこともあります。就学前教育スタンダード では、様々な表現方法、手法に出会える機会を十分に保障したいと考えています。
- 就学前教育スタンダードでは、幼児が「表現したい」と思う原動力となる感動体 験を数多く創出できるようにしていきます。
- その幼児なりの表現を引き出し、尊重し、幼児が「表現したい」と思うことが、 楽しみながら実現できるような過程に価値をおき、援助していきます。

他スタンダードとの主なつながり

体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、 楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。

国語スタンダード □ 季節を感じ、俳句に親しみます

英語スタンダード ロ 英語で積極的にコミュニケーションをとります





(3)「こうとう学びスタンダード(ネクストステージ)」について

「就学前教育スタンダード」以外の6つのスタンダードは、次のとおりです。

学び方スタン	ンダード
学び方スタン	ダードとは、学力向上を図る上で、確かに身に付けさせたい学習習慣等を示
したものです	
口持ち物	前日に必要な学習用具を準備します
□ 着 席	授業の始まりの時間を守り、席に着きます
□ 挨 拶	授業の始めと終わりにあいさつをします
□ 姿 勢	背筋を伸ばした姿勢で座ります
口話し方	声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します
口聴き方	話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
口 返 事	(小・義前) 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
口提出物	(中・義後) 提出物の期限を守ります
口 家庭学習	(小・姜前) 党任ごとに時間を決めて、家庭学習に取り組みます

(中・義後) 自ら計画を立てて、家庭学習に取り組みます

体カフタンダード

体力スタンダードとは、体力向上を図る上で、確かに身に付けさせたい運動の内容や動き
を示したものです。
ロ マットでまっすぐ前に回ることができます
ロ 鉄棒で前回り下りができます
ロ 自分にあった高さの跳び箱を跳び越すことができます
ロ 短い距離をスピードに乗って速く走ることができます
ロ スピードとテンポを考えて遠く、または高く跳ぶことができます
ロ 続けて長く泳ぐことができます
ロ ボールを力いっぱい遠くまで投げることができます
ロ ボールを思ったところへけることができます
ロ 長い距離を自分にあったペースで走ることができます
ロ 縄跳びで続けて長く跳ぶことができます
※それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組み
ながら、身に付けます。

国語スタンダード

国語スタンダードとは、言語に関する能力を育成するために、確かに身に付けさせたい学

習内容を示したものです。 (小学校・中学校・義務教育学校共通) □ 学習した漢字や言葉を文章の中で使います □ 相手や場面を考えて敬語を使います □ 読書に親しみ、いろいろな分野の本を読みます □ 季節を感じ、俳句に親しみます (小学校・義務教育学校前期課程) □ 順序を考えて相手に伝わるように話します □ 自分と友達の考えを比べながら話し合います □ 文章の構成を考えて書きます □ 話の大切なところに気を付けて読み取ります (中学校•義務教育学校後期課程) □ 自分の考えを適切な言葉で話します □ 自分の考えと比較して聞き、目的に沿って話し合います □ 伝えたいことを明確にし、構成を工夫して書きます

□ 文章の展開や表現に気を付けて読み取ります

算数スタンダード
算数スタンダードとは、その学年で確実に身に付けることでその後の学習の理解につなが
っていく内容を精選し、示したものです。
ロ くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算ができます【1年】
ロ かけ算九九を正しく言えます【2年】
□ 整数のたし算、ひき算が筆算でできます【3年】
□ 整数のわり算ができます【3年】
□ 計算のきまりが分かります【4年】
ロ 分数のたし算、ひき算ができます【5年】
ロ 小数のかけ算、わり算ができます【5年】
□ 三角形や四角形の面積が求められます【5年】
ロ いろいろな単位が分かります【2~5年】
ロ 分数のかけ算、わり算ができます【6年】
口 角柱、円柱の体積が求められます【6年】
数学スタンダード
数学スタンダードとは、その学年で確実に身に付けることでその後の学習の理解につなが
っていく内容を精選し、示したものです。
ロ 正の数と負の数の計算ができます(四則計算)【1(7)年】
ロ 文字を用いた式の計算ができます【1(7)・2(8)年】
ロ 1 次方程式、連立方程式、2 次方程式を解くことができます【全学年】
□ 根号(√)を含む式の計算ができます【3(9)年】
\Box 比例、反比例や 1 次関数、 $y = a \times 2$ のグラフを式で表せます【全学年】
ロ データを表やグラフに表すことができます【1(7)・2(8)年】
□ 場合の数を数えることができます【2(8)年】
□ 毎線、垂直二等分線、角の二等分線を作図できます【1(7)年】
□ 三角形の合同条件を言うことができます【2(8)年】
ロ 平行線にできる角や円周角の定理をもとに角の大きさを求めることができます
【2(8)・3(9)年】
ロ 相似比を用いて線分の長さを求めることができます【3(9)年】
□ 三平方の定理を用いて、線分の長さを求めることができます【3(9)年】
日 二十分の定理を用いて、縁分の及じを水のることができます 【3(3)年】
本語マカン・片 (*)
英語スタンダード
英語スタンダードとは、コミュニケーション能力の向上を図る上で、確かに身に付けさせ
たい内容を示したものです。
(小学校・中学校・義務教育学校 共通)
ロ 英語で積極的にコミュニケーションをとります
(小学校・義務教育学校前期課程)
ロ 英語であいさつや自己紹介をします
ロ 英語でやりとりをします
□ 英語で道案内をします
□ 英語で将来の夢を話します
口 英語で自分の名前を書きます
(中学校•義務教育学校後期課程)
ロ 英語であいさつや自己紹介ができます
ロ 英語でやりとりができます
口の英語で道案内ができます
口 英語で自分の学校を紹介できます
口 英語で身近なできごとや自分の考えを伝えることができます
□ 英語で書かれた案内文を読み、その内容を理解できます
ロ 英語で江東区について伝えることができます

(4) 「就学前教育スタンダード」と他スタンダードとの主なつながり

学び・育ちの接続を充実させるために、就学前教育スタンダードと他スタンダー ドとのつながりを考慮することは大切です。主なつながりは次の表のとおりです。

「幼児期の終わりまでに		(切しり。主なりなかりは次の表のとおりしり。
育ってほしい姿」の視点	就学前教育スタンダード	<u></u> 他スタンダード
健康な心と体	のびのびと体を動かす	学び方スタンダード □ 背筋を伸ばした姿勢で座ります □ 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします 体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。など
自立心	自分でよく考える	学び方スタンダード □ 授業の始まりの時間を守り、席に着きます □ 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します 国語スタンダード □ 相手や場面を考えて敬語を使います □ 順序を考えて相手に伝わるように話します □ 自分と友達の考えを比べながら話し合います など
協同性	友達と遊ぶことを楽しむ	学び方スタンダード □ 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します □ 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
道徳性・規範 意識の芽生え	相手の気持ちを考える	□ 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします国語スタンダード□ 順序を考えて相手に伝わるように話します
社会生活との関わり	「ありがとう」と 言われる嬉しさを感じる	□ 自分と友達の考えを比べながら話し合います英語スタンダード□ 英語で積極的にコミュニケーションをとります□ 英語であいさつや自己紹介をしますなど
思考力の芽生え	十分に試したり 工夫したりする	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。 国語スタンダード □ 自分と友達の考えを比べながら話し合います 算数スタンダード(全般) など
自然との 関わり・ 生命尊重	自然に たっぷり触れる	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。 国語スタンダード □ 季節を感じ、俳句に親しみます 算数スタンダード (全般) など
数量や図形、 標識や文字 などへの 関心・感覚	数や文字などに 関心をもつ	学び方スタンダード □ 授業の始まりの時間を守り、席に着きます 国語スタンダード □ 読書に親しみ、いろいろな分野の本を読みます 算数スタンダード (全般) など
言葉による伝え合い	楽しく話したり よく聴いたりする	学び方スタンダード □ 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します □ 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます 国語スタンダード □ 相手や場面を考えて敬語を使います □ 順序を考えて相手に伝わるように話します □ 自分と友達の考えを比べながら話し合います など
豊かな 感性と表現	いろいろな表現を 楽しむ	体力スタンダード ※ それぞれの内容について、児童・生徒個人の目標を設定し、楽しく運動に取り組みながら、身に付けます。 国語スタンダード □ 季節を感じ、俳句に親しみます 英語スタンダード □ 英語で積極的にコミュニケーションをとります など